

行動計画推進リーダー委員会

委員長 村上 義 憲

副委員長 住 田 幸 伸

委 員 島 谷 隆

高松西ロータリークラブ60周年に向けての展望

高松西ロータリークラブは、3年後に60周年という大きな節目を迎えます。記念すべき木村ガバナーを輩出してから十数年、この間には50周年記念式典の開催、新型コロナウイルスによる社会活動の停滞、そして55周年記念式典の実施など、幾多の困難を乗り越えながらもクラブの活動を継続してまいりました。

しかしながら、7年前には59名だった会員数が、2024年度当初には37名にまで減少し、平均年齢も60歳を超える状況となっています。コロナ禍による例会・委員会活動の中断、地方における人口減少と高齢化の進行など、複数の要因が重なり、クラブの存続そのものが危ぶまれる時期もありました。

そのような中、2024-25年度には会員増強が進み、少しずつ明るい兆しが見え始めています。国際ロータリーも昨年度から「マルチイヤー（複数年）」による目標設定を提唱しており、これを好機と捉え、60周年に向けて新たなビジョンと目標を設定し、より安定したクラブ運営を目指す必要があります。

本年度は、会員全員が共有し、夢を描けるような新たな目標を創り上げる一年と位置づけ、未来へ向けた第一歩を踏み出してまいります。